

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の再評価結果報告(令和元年度報告)

市町名: 安芸高田市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安芸高田市有害鳥獣 捕獲対策協議会	安芸高田市	H29	イノシシ シカ サル カラス ヌートリア	捕獲活動	箱わな(大型獣用) 6個 箱わな(小型獣用) 25個 殺処分用機器 3台 H30.2.21開催 参加者 82名	安芸高田市	H30.3	100	イノシシ	8,778,000	20,115,000	44%	8.8	21.2	42%	・H30豪雨災害によって、山林の地形が変動したことが影響したのか、普段出ない箇所へ獣の出没し被害が拡大したように思える。今後においても、粘りずよく対策を講じて行きたい。
									シカ	5,889,000	9,719,000	61%	6.1	10.2	60%	
									サル	108,000	91,000	119%	0.5	0.04	1250%	
									カラス	197,000	0		0.16	0		
									ヌートリア	72,000	23,000	313%	0.08	0.02	400%	

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント者名: 広島県西部農林水産事務所林務第一課 事業調整員 佐々木恵美子
コメント: 安芸高田市の農作物被害は、イノシシ・シカについて被害金額・面積共に目標を大きく下回っている。市による実施状況報告書のとおり、平成30年度豪雨災害の影響(侵入防止柵の破損、鳥獣の出没状況の変化)もその一因であると考えられる。また、捕獲数についても、例年より若干少ない。
今後は、侵入防止柵の点検・管理を重点的に進め、また被害をもたらす鳥獣の捕獲についても積極的に取り組んでいく必要がある。

注) 第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。